

# 今の時代に「死ぬ」「生きる」を みんなで考えることの意味

2026

2/7  
土

15:00~17:00

オンライン・対面 ハイブリッド開催

参加無料／定員：対面 100名・オンライン 500名

会場／滋賀県庁 新館 7階 大会議室

(大津市京町4丁目1-1 / JR大津駅から徒歩5分)

ゲストスピーカー



東寺真言宗 大本山石山寺  
第五十三世座主

鷺尾 龍華さん

ゲストスピーカー



漫画家／作家

吉本 ユータヌキさん

ファシリテーター

上田 洋平さん（滋賀県立大学 特任講師）

対象／県内外在住問わず、どなたでもご参加いただけます。

「死」や「生」について話す場は、いま、多くはありません。

誰もが避けられない「死」と向き合い、限りある「生」をどう捉えるか、

そうした根源的なテーマを真正面から考え、自らの弱さや他者を理解し、

みんながつながりを持って生きていくことの大切さを認め合う...

「死生懇話会」は、より豊かに生きるためのヒントを得ようとする場です。

「死生懇話会」の  
これまでの取組や  
最新のイベント情報  
などは、滋賀県公式  
ホームページから  
ご確認ください。



20分

鷲尾龍華さんより

【こころの居場所をつくる】を  
テーマにご講演

20分

吉本ユータヌキさんより

【あした死のうと思っていたのに】を  
テーマにご講演



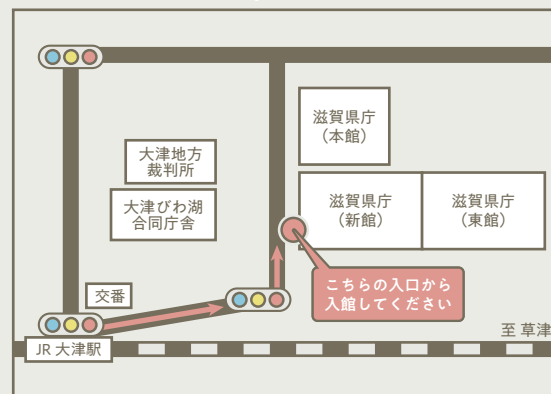
20分

鷲尾さん、吉本さん、  
上田さんの3名で  
クロストーク



60分

参加者のみなさまからの  
声を元に、  
深掘りトーク



## 出演者プロフィール



ゲストスピーカー  
東寺真言宗 大本山石山寺 第五十三世座主

鷲尾 龍華さん

滋賀県大津市生まれ。同志社大学文学部美学芸術学科(西洋美術史専攻)卒業。種智院大学人文学部仏教学科卒業。石山寺初の女性座主。伝統の継承と現代への普及を目指しながら講演や地域活動、文化財保護など、幅広く活動している。2023年12月『ほとけの誓い、おもき石山 紫式部ゆかりの寺にて』(淡交社)を刊行。



ゲストスピーカー  
漫画家/作家

吉本 ユータヌキさん

1986年、大阪府生まれ。滋賀県在住。自分のように「気にしすぎ」な人が少しでも気楽に生きられるヒントになるような漫画を作るため活動中。著書に『「気にしすぎな人クラブ」へようこそ』(SDP)。令和5年12月には、X上で14万件以上のいいねを集め、「泣きながら読みました」「今苦しい人にこそ読んでほしい」など多くの感動・共感と呼んだ漫画『あした死のうと思っていたのに』が扶桑社より書籍化された。



ファシリテーター  
滋賀県立大学 地域共生センター 特任講師

上田 洋平さん

滋賀県立大学卒業(1期生)。滋賀県立大学大学院人間文化学研究科地域文化学専攻 博士課程単位取得退学。専門は地域文化学・まちづくり。風土に根ざした暮らしと文化の研究と実践に取り組む一方、地域と連携した人材育成や「地域共育」プログラムの開発も手掛ける。住民が協力し合って地域の暮らしの物語を屏風絵」として描き上げるまちづくりの手法「心象図法」を開発。

## お申し込み方法

1 右記二次元コードまたは URL より専用申込フォームに必要事項をご記入ください。

<https://shiga2030.jp/>

2 ご記入いただいたメールアドレスに「申込完了メール」をお送りしますのでご確認ください。



申込期限 / 2026 年 2 月 6 日 (金) 23:59 まで

※定員を上回った時点で申込を締め切る場合がございます。